

令和 3 年度

学校関係者評価 報告書

評価期間

自：令和 2 年 4 月 1 日

至：令和 3 年 3 月 31 日

令和 3 年 5 月 1 5 日

学校法人九州呉学園 専門学校日本デザイナー学院

本報告書は平成25年3月に文部科学省生涯学習政策局の作成『専修学校における学校評価ガイドライン』及び、特定非営利活動法人私立専門学校評価研究機構の作成『第三者評価システムの概要 Ver 4.0』に準拠し実施した。

【学校関係者評価委員会】

委員長(業界関係者代表)

井上 憲一郎(井上総合印刷株式会社 代表取締役)

委員(業界関係者代表)

佐野 直樹(株式会社ダブルベース 取締役)

委員(業界関係者・卒業生代表)

日高 信生(株式会社ディーゼロ 取締役)

委員(業界関係者・卒業生代表)

宮崎 智文(トゥモローデザイン)

委員(高等学校代表)

宮武 一行

(学校法人恭敬学園 北海道芸術専門学校 福岡サテライトキャンパス キャンパス長)

委員(地域代表)

井浦 賢治(東住吉公民館 主事)

事務局

大庭 香代子 (校長)

野村 佳弘 (事務局長)

大賀 琢実 (教務課長)

目 次

1. 学校の教育目的と使命	P 3
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画	P 3
3. 点検項目の評価結果	P 3 ～ 1 1
(1) 教育理念	P 3
(2) 学校運営	P 4
(3) 教育活動	P 5
(4) 教育成果	P 6
(5) 学生支援	P 7
(6) 施設整備	P 8
(7) 学生募集	P 8
(8) 財務	P 9
(9) 法令順守	P 1 0
(1 0) 社会貢献	P 1 0
(1 1) 国際交流	P 1 1
4. 学校関係者評価委員の評価結果について	P 1 2

1. 学校の教育目的と使命

目的：産業経済と生活文化に携わる有能なクリエイターを育成することを目的とする。

使命：クリエイターの職能上必要適切な教養と技術を習得させ、あわせて人間形成に努め社会人としての自覚と責任を持たせるよう指導することを使命とする。

【職能的指導方針】

1. 基礎知識、技術の習得
2. 専門基礎知識、技術の習得
3. 専門知識、技術の習得

プロとしての基本知識と技術の習得、創造性豊かな人材育成を教育指導方針とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・教育内容の整備：学科ごとに教育内容の見直しを図り、業界のニーズに合わせた高付加価値教育の徹底を行う。
- ・学習環境の整備：オンライン教育の整備と様々な感染症対策など学生が安心して学ぶことができる環境を整備し学生の学びを深める
- ・情報公開の整備：学園の基本情報等を公開し、外部の方へからの透明性と理解度を高める。

3. 点検項目の評価結果

自己点検・評価結果(4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切)を基に学校関係者評価委員会で点検・評価を行った。

(1) 教育理念に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
1-1)	教育理念・教育目標は示されているか	4…適切
1-2)	学校の特色は示されているか	4…適切
1-3)	学校の将来構想は示されているか	4…適切
1-4)	学校の理念・目的・特色などが学生・保護者に周知されているか	3…ほぼ適切
1-5)	各科の教育目標、人材育成は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3…ほぼ適切

□自己評価総評・取り組み

前年度の自己評価結果と比較すると3項目で評価が上がっており、少なからず対策の効果が出ている。しかしホームページを活用し情報の周知を行っているがまだまだ浸透したと言える状況ではない。引き続き情報公開を行うと共に公開場所の周知を行い、講師会等を用いて通達を行う。また、新型コロナウイルス感染症の影響で保護者会も中止となったことから保護者への共有も不足した。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

保護者への周知が不足している原因は何なのか？

学校の特色をもっとわかりやすく見せることが出来ないか？周知をすることも重要だが、「わかりやすさ」「学科の強み」などを保護者目線で伝えることも大切ではないか。

□改善策

保護者への周知について、これまで同様年に数回資料送付を行うと共に前年度に中止となった保護者会を実施する。

ホームページの作りについては広報やWEB制作会社と相談しつつ見せ方の再検討を行う。

(2) 学校運営に関すること

評 価 項 目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
2-1)	運営方針は定められているか	4…適切
2-2)	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4…適切
2-3)	運営組織や意思決定機能は示されており機能的な構成となっているか	4…適切
2-4)	人事や給与での処遇に関する制度は整備されているか	4…適切
2-5)	意思決定システムは確立されているか	4…適切
2-6)	業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4…適切
2-7)	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4…適切
2-8)	情報システム等による業務の効率化が図られているか	3…ほぼ適切

□自己評価総評・取り組み

全項目で大きく評価が上がっており前年度からの取り組みが大きく結果として表れていると言える。引き続き明確で透明性をもった運営を徹底していく。情報システムについては講師陣が管理システムを利用する機会が少なく理解を得ることが難しい。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

前年度でも議題となったが「効率的なものになっているか」は何をもって「効率的」と呼

ぶのか。不透明でわかりにくい。

□改善策

今年度もアンケートの文言調整は行ったが未だわかりにくい。次年度以降、より具体的な表記に修正を行う。

(3) 教育活動に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
3-1)	教育活動は教育理念等に沿った編成・実施方針となっているか	4…適切
3-2)	カリキュラムは業界の人材ニーズに対応しているか	3…ほぼ適切
3-3)	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3…ほぼ適切
3-4)	キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが反映されているか	3…ほぼ適切
3-5)	定期的カリキュラムの見直しはなされているか	4…適切
3-6)	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4…適切
3-7)	成績評価の基準は明確になっているか	4…適切
3-8)	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3…ほぼ適切
3-9)	授業評価は実施されているか	3…ほぼ適切
3-10)	資格取得等に関する指導体制やカリキュラムはできているか	3…ほぼ適切
3-11)	人材育成目標の達成に向けて授業を行う講師を確保しているか	4…適切
3-12)	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3…ほぼ適切
3-13)	関連分野における先端的な知識・技能等を取得するための研修や教員の指導力育成や向上のための取組が行われているか	3…ほぼ適切
3-14)	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3…ほぼ適切

□自己評価総評・取り組み

前年度の自己評価結果と比較すると5項目で評価が上がっており、少なからず対策の効果が出ている。担当学科以外の情報が見えにくいことや外部(関連企業や個人事業主等)と講師陣との意見のすり合わせが不足していたことが今期の課題である。GSuiteにて情報共有等を行っているがもっと積極的に情報を発信する必要がある。また、株式会社 Schoo とのビジネス契約の締結により職員や講師の学びの場を増やすことが可能となる。活用していきたい。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

GSuite を活用した情報発信は時系列に情報が並ぶのか？古い情報はどうなるのか？

→ Classroom を活用しているが情報は時系列に並び、過去の情報はスクロール最下部に流れる。

講師会は対面で行ってきたのか？今年度はどうするのか？

→ 基本的には対面で行っているが昨年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前期末は中止とした。年度末は実施している。

低評価の項目に対して意見交換の場等設けるなどヒアリングを行ったほうが良い。

担当学科以外の情報を共有する意味はどこにあるのか？共有する目的を明確にしないと伝わらない。仮に情報が届いたとしても効果がある情報発信とはならない。

□改善策

引き続き情報発信については GSuite を活用することと、講師会等などの対面の場でも情報を届けることにも重視する。

現状では正確な情報を取得するために無記名での自己評価アンケートを行っていた。職員・講師との個人面談や座談会等、意見を聴取する場を作り課題を抽出していく。

情報発信の際には発信する目的も明確にし、講師・職員の理解を深められるよう改善を行う。

（４）教育成果に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
4-1)	就職率を向上させるための施策は図られているか	3・・・ほぼ適切
4-2)	資格取得の向上が図られているか	3・・・ほぼ適切
4-3)	退学者を減らすための施策は図られているか	3・・・ほぼ適切
4-4)	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3・・・ほぼ適切
4-5)	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3・・・ほぼ適切

□自己評価総評・取り組み

就職に対する学生の意識改革や学生が抱えている本質的な問題が大きな課題となる。前年度は新型コロナウイルス感染症の影響も大きく受け、就職が非常に厳しい状況だった。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

他校や市場の動きはどうなっているか？求人数も新型コロナウイルス感染症の影響を受けているのか？

□改善策

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けキャリア教育のスタートも遅れてしまった。

今年度は前年度の反省を活かし昨年末からキャリア教育をスタートさせている。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、どのように求人の状況が動くかは見えない部分が多いので先手を打って対応を行っていく。また入学から卒業まで期毎に目標と具体的な施策を策定し実施しているので効果検証を行いながらフォローに力を入れていく。

(5) 学生支援に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
5-1)	就職に関する支援体制は整っているか	3…ほぼ適切
5-2)	学生相談などの支援体制は整っているか	4…適切
5-3)	学生への奨学金等の経済的支援は整っているか	4…適切
5-4)	学生の健康管理に関する支援体制は整っているか	3…ほぼ適切
5-5)	課外活動に関する支援体制は整備されているか	3…ほぼ適切
5-6)	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	3…ほぼ適切
5-7)	保護者と適切に連携しているか	3…ほぼ適切
5-8)	卒業生への支援体制はあるか	3…ほぼ適切
5-9)	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3…ほぼ適切
5-10)	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3…ほぼ適切

□自己評価総評・取り組み

前年度と比較し大きくポイントを上げることは出来なかった。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、課外活動や保護者との連携など実施出来なかったこともあった。またアンケート項目としても不明瞭な部分があるので明確な指針とする必要がある。それぞれ支援体制は整えてはいるが職員・講師の実施内容の把握が自己評価にも影響している。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

自己評価結果が低いと感じる。学生の情報等、職員はとても詳しく把握しているのにも関わらず低い評価がついてしまうのは情報の共有が足りないのではないかと。

(4)(5)については学校の行動指針と比較しても高評価が欲しい項目である。掲げている「すべては学生のために行動する」という指針を推進してほしい。

□改善策

講師・職員への理解度を高めるためにも情報発信に力をいれていく。また不明確な項目に

についてはもっとわかりやすい表記に記載方法を変更していく。

(6) 施設設備に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
6-1)	施設・設備はカリキュラムに対応出来ているか	3…ほぼ適切
6-2)	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4…適切
6-3)	防災体制は整っているか	4…適切

□自己評価総評・取り組み

新校舎となってまだ6年だが施設設備の評価が1ポイント下がった。PCなどの機材が入れ替えのタイミングということが影響していると推測する。適宜施設の補修は行っており、機材の入れ替え計画も進めている。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

学校が機材を購入する必要があるのか？学生が作品制作用 PC を保有しているのであれば必要ないのではないかな？

□改善策

学生が購入できないような機材(高スペック PC や大型液晶タブレット、写真機材関係など)は揃える必要がある。購入計画は進めているので定期的に進めていくと共に今期も最新型の Macbook を購入する予定である。

(7) 学生募集と受け入れに関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
7-1)	学生募集の活動は希望者の意向を配慮し適切に行われているか	4…適切
7-2)	教育内容を適切に学生募集に反映しているか	4…適切
7-3)	入学選考の時期・基準・方法は適正か	4…適切
7-4)	納付金は妥当なものとなっているか	4…適切

□自己評価総評・取り組み

適正な学生募集を保っている。新型コロナウイルス感染症の影響による募集方法の変化への対応も行っており、今期は更なる改革が必要となる。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

事務局からの報告・改善策で意見は一致した。

□改善策

オンラインを活用した広報戦略に対しより力を入れていく。

(8) 財務に関すること

評 価 項 目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
8-1)	中長期的な財務基盤は安定しているか	4…適切
8-2)	予算・収支計画は有効かつ妥当か	4…適切
8-3)	会計監査は適正に行われているか	4…適切
8-4)	財務情報公開の体制整備はできているか	4…適切

□自己評価総評・取り組み

前年度指摘を受けた通り収支報告書の公開行っている。公認会計士(監査法人)による会計調査を受け、私立学校法および寄附行為にもとづき、選任された 2 名の監事が財務会計監査を実施している。適切な財務管理を行っている。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

事務局からの報告・改善策で意見は一致した。

□改善策

引き続き学園本部と連携し、透明性があり適正な財務管理を行っていく。

(9) 法令順守に関すること

評 価 項 目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
9-1)	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4…適切
9-2)	個人情報に関して、その保護のための対策がとられているか	4…適切
9-3)	自己評価の実施と問題点について改善に努めているか	4…適切
9-4)	自己評価結果を公表しているか	3…ほぼ適切

☐ 自己評価総評・取り組み

法令や設置基準を遵守すべく最善の努力をしている。自己評価については公表しているが評価がついていない。

☐ 学校関係者評価委員会コメント・質疑

事務局からの報告・改善策で意見は一致した。

☐ 改善策

情報共有が不足しているため徹底していく。

(10) 社会貢献に関すること

評 価 項 目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
10-1)	教育資源や設備を活用しての社会貢献はなされているか	4…適切
10-2)	学生のボランティア活動に対する支援は整備されているか	3…ほぼ適切
10-3)	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3…ほぼ適切

☐ 自己評価総評・取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施できなかったことが多くあった。今年度は積極的に実施していきたいと考えているが新型コロナウイルス感染症の活動制限を考慮した上での実施を検討していく。

☐ 学校関係者評価委員会コメント・質疑

事務局からの報告・改善策で意見は一致した。

☐ 改善策

オンラインを活用した実施や人との距離を保った案件の検討など関係各所との連携を図る。

(11) 国際交流に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
11-1)	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4…適切
11-2)	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4…適切
11-3)	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4…適切
11-4)	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3…ほぼ適切

□自己評価総評・取り組み

10月にマレーシア校が開校する予定で計画が進んでいる。マレーシアの新入生2名が未だ入国できない状況だが、マレーシア校に登校し、マレーシアからオンライン授業を受講する等、姉妹校とも協力しながら学生フォローを行っている。新型コロナウイルス感染症の影響による留学生の受け入れが大きな課題となっている。まずはマレーシアを軸に海外でも学習成果が評価される取り組みに力を入れていく。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

事務局からの報告・改善策で意見は一致した。

□改善策

新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら適宜募集活動を行っていく。

4.学校関係者評価委員の評価結果について

上記報告書は、学校関係者評価委員として、
妥当な評価であることを確認し、認めます。

令和3年 5月15日

【学校関係者評価委員会】

委員(業界関係者代表)

井上 憲一郎(井上総合印刷株式会社 代表取締役)

委員(業界関係者代表)

佐野 直樹(株式会社ダブルベース 取締役)

委員(業界関係者・卒業生代表)

日高 信生(株式会社ディーゼロ 取締役)

委員(業界関係者・卒業生代表)

宮崎 智文(トゥモローデザイン)

委員(高等学校代表)

宮武 一行

(学校法人恭敬学園 北海道芸術専門学校 福岡サテライトキャンパス キャンパス長)

委員(地域代表)

井浦 賢治(東住吉公民館 主事)